

科 目 名	現代社会と倫理					開 講 キャンパス	神 埼
担 当 者	井 本 浩 之						
開 講 年 次	1 (心 理) 1・2 (リ ハ) 1～3 (子ども)	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	必 修 (リ ハ) 選択必修 (子ども)
授業の概要 及びねらい	現代における科学技術の進歩は、伝統的な倫理観に対立する事象を多く生み出してきている。たとえば、医療の分野における技術革新は脳死問題、生体臓器移植等々を生み出し、伝統的な生命観を超えた問題を提起している。環境問題に目を向けても、経済的成長欲求と地球規模の成長の限界の対立など、問題は山積している。この授業では、現代社会において倫理的問題を語ることの難しさを実感していただくことを主眼にしている。						
授 業 の 到 達 目 標	・伝統的な倫理説について説明できる。 ・科学技術の革新がもたらした新しいタイプの倫理問題について説明することができる。 ・現代社会が抱えている倫理問題を説明することができる。 ・法や規則によって解決できない問題に取り組もうとする姿勢を身につける。						
学 習 方 法	パワーポイントを用いたノート講義 グループワーク後の討論						
テキスト及 び参考書等	必要に応じて準備します。						
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験							
小テスト等							
宿題・授業外レポート	◎	◎					60
授業態度			○				10
受講者の発表			○				10
授業への参加度			◎				20
その他							
合 計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画 (学習内容・キーワードとスケジュール)							
第 1 週	オリエンテーション (授業の進め方)						
第 2 週	意志決定ゲーム (あなたはどの道を選びますか?)						
第 3 週	自由意志の不思議						
第 4 週	意思決定ゲーム 2 (取り戻せない選択肢)						
第 5 週	自由意志の怖さ						
第 6 週	自由と後悔						
第 7 週	倫理学とは何か						
第 8 週	西洋の倫理観 1 (善と悪)						
第 9 週	西洋の倫理観 2 (効率と倫理)						
第 10 週	西洋の倫理観 3 (人権と効率)						
第 11 週	西洋の倫理観 4 (カントの倫理主義)						
第 12 週	西洋の倫理観 5 (解決のつかない問題)						
第 13 週	さまざまな倫理問題						
第 14 週	前期の復習とまとめ						
第 15 週	まとめ (試験を含む)						
第 16 週							
備 考	【授業外学修について】 授業に作成したノートをよく読み直し、授業を再現できるノートづくりを毎回行うこと。各回終わりに課題を課すので、次の授業時までによく考え、自分なりの回答を用意しておくこと。						